

浜名湖ボート事故1年 豊橋の中学校 追悼演奏会

みんな大好き忘れない

記 西野 友章

母親の光美さんが、花菜愛用のバイオリンを使った演奏会の開催を、地元の音楽団体「ムースタジオ」主宰のバイオリニスト大竹広治さん依頼し実現しました。

タイトルは「光奏でる友と 娘は太陽だった 音楽大好き 友達大好き」。大竹さんら三人の奏者は、花菜が事故の直前まで練習していたビバルディのバイオリン協奏曲など十曲を演奏。花菜さんが在籍した吹奏楽部との合奏もあり、同級生ら三百四十人が耳を傾けた。涙を浮かべる女子生徒もいました。

私は自宅で「大好きだった音楽で演奏会を開くことができ娘も喜んでいと思う。娘の死を教訓に事故の再発防止に努めてほしい」と話しました。

【2011年6月19日中日新聞参照】



浜名湖ボート事故1年
みんな大好き忘れない
豊橋の中学校 追悼演奏会
浜松市の浜名湖で毎年六月、野外教育活動中のボートが転覆、豊橋市立章南中学校の一年生の西野花菜さん(当時12)が亡くなった事故から一年となる十八日、花菜さんの母の音楽会が同校体育館であった。(聞き手 西野友章)

浜名湖ボート事故1年

鎮魂の響き

記 西野 友章

荒天の浜名湖で自然体験学習中に手こぎボートが転覆し、豊橋市立章南中学校の1年生だった私の娘西野花菜(当時12)が亡くなった事故から1年となる18日、花菜の両親が企画したコンサートが同中学校で開かれました。

生徒や保護者ら約340人が詰めかけた体育館には、バイオリンとピアノが大好きだった花菜が事故でなくなる二日前まで練習していた曲や最後となった小学6年生の発表会で演奏した曲が響き、涙をぬぐう生徒の姿もありました。

演奏したのは55人の音楽家が所属する「ムースタジオ」の大竹広治さん、保井真奈美さん、鈴木雅子さん。母の光美と花菜が2006年に足を運んだクリスマスコンサートで演奏していた3人です。

バイオリニストの大竹さんと保井さんは花菜が使っていたバイオリンで曲を奏でた。花菜さんが所属していた吹奏楽部の生徒との合同演奏もありました。3年生の浜田優季さんは「一つ一つの曲が心に染み渡った感銘を忘れない、命の灯を今まで以上に灯し続けたい」と話しました。

【2011年6月19日朝日新聞参照】



鎮魂の響き
浜名湖ボート事故1年
荒天の浜名湖(浜松市)で自然体験学習中に手こぎボートが転覆し、豊橋市立章南中学校の1年生だった西野花菜さん(当時12)が亡くなった事故から1年となる18日、花菜さんの両親が企画したコンサートが同中学校で開かれた。生徒や保護者ら約340人が詰めかけた体育館には、バイオリンとピアノが大好きだった花菜さんが事故でなくなる二日前まで練習していた曲や最後となった小学6年生の発表会で演奏した曲が響き、涙をぬぐう生徒の姿もあった。演奏したのは55人の音楽家が所属する「ムースタジオ」の大竹広治さん、保井真奈美さん、鈴木雅子さん。母の光美と花菜さんが2006年に足を運んだクリスマスコンサートで演奏していた3人だ。バイオリニストの大竹さんと保井さんは花菜さんが使っていたバイオリンで曲を奏でた。花菜さんが所属していた吹奏楽部の生徒との合同演奏もあった。3年生の浜田優季さんは「一つ一つの曲が心に染み渡った感銘を忘れない、命の灯を今まで以上にともし続けたい」と話した。